



ほうき 議会だより

第71号
2022年
10月25日



防災避難訓練 (田園町自治会)

おもな内容

- 令和3年度一般会計決算…………… 2ページ
- 現地調査・審査意見…………… 3～4ページ
- 補正予算…………… 5ページ
- 請願・陳情、意見書…………… 6ページ
- 委員会活動報告…………… 7ページ
- 全員協議会…………… 8～9ページ
- 一般質問…………… 10～15ページ
- 議会の虫めがね、編集後記…………… 16ページ

人の動き

	令和4年10月1日現在	前年同月比
人口	10,447人	△235人
(男)	5,025人	△103人
(女)	5,422人	△132人
世帯数	3,862世帯	△10世帯

伯耆町議会へのお問い合わせ、ご意見をお待ちしております！

伯耆町ホームページから、「議会の情報」→「議会事務局」ページ項目最下部「オンラインによるお問い合わせ、ご意見はこちら」に進んでいただくと送信できます。



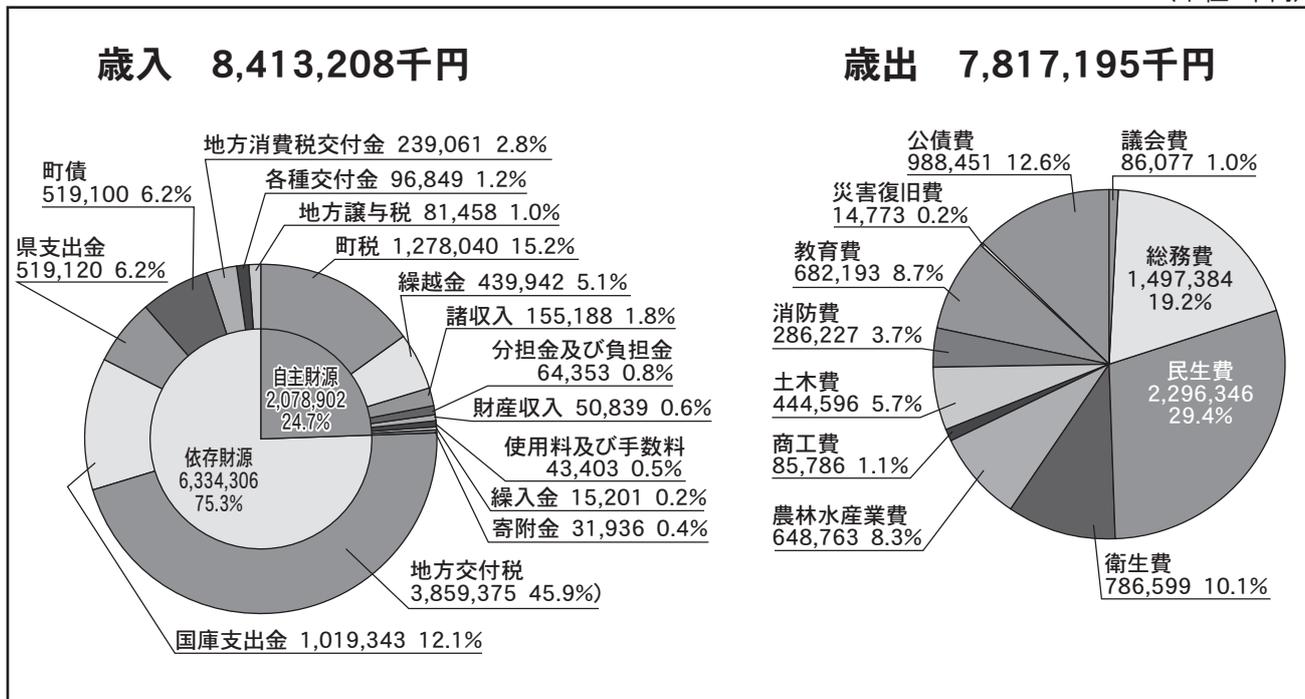
令和3年度伯耆町一般会計歳入歳出決算を認定

(令和4年9月17日)

実質収支は3億3,487万円の黒字
実質単年度収支は9,104万円の赤字

歳入 84億1,320万円 **歳出 78億1,719万円**

(単位:千円)



歳出の主なもの

- ・ 鬼の館長寿命化等改修事業 1億5375万円
- ・ 基金管理事業 3億4499万円
- ・ 子育て世帯への臨時特別給付金 1億5940万円
- ・ 清掃センター解体事業 1億1566万円
- ・ 上水道事業会計繰出金 1億3006万円
- ・ 新型コロナウイルススワクチン接種体制確保事業 2751万円
- ・ 新型コロナウイルススワクチン接種対策事業 8613万円
- ・ フィットネス&スタジオオパル・みぞくちテラソ運営支援事業 1149万円
- ・ 地積調査事業 2718万円
- ・ 町道大倉大原線改良事業 2923万円
- ・ 町道根原大坂線改良事業 4077万円
- ・ 町道溝口中央線改良事業 1247万円
- ・ 道路除雪事業 4589万円
- ・ 防災広場整備事業 5076万円
- ・ 学校ICT環境整備事業 1254万円
- ・ 小中学校体育館等照明LED化事業(地方創生臨時交付金) 4602万円
- ・ リモートオフィス環境整備事業(地方創生臨時交付金) 750万円
- ・ 空家等対策推進事業 180万円

令和3年度事業の現地調査



空家等対策推進事業



防災車庫整備



みぞくちテラス



リモートオフィス
(ロイヤルホテル大山)



二部保育所



コミュニティプラザ

コロナ対策・公共施設長寿命化・改修を中心に予算が執行されました。

令和3年度 決算に関する審査意見

1. 結婚新生活支援事業は、評価できる事業である。さらなる制度の周知を図られたい。
2. 荒廃農地防止事業については、所有者の保全管理が見込めない農地を町が交付金を支出して支援するという制度の趣旨は理解するものである。しかし、同一の農地が年次的、継続的にこの制度で支援しなければならない事態も予測される。この支援制度の効率的な運用並びに抜本的な見直しを検討されたい。
3. 森林経営計画は、森林の施業及び保護について有効と考える。この計画をさらに多数の「森林所有者等」に拡大するなど、森林の持つ多様な機能を十分に発揮させるよう、森林環境譲与税の活用の観点等からもさらなる努力をされたい。

議案等に対する各議員の賛否（令和4年9月定例会）

議案番号	件名	大床	上田	片岡	長谷川	杉本	乾	永井	杉原	一橋	渡部	細田	幅田	大森	勝部
		桂介	博文	千明	満	大介	裕	欣也	良仁	信介	勇	栄	千富美	英一	俊徳
59	令和3年度伯耆町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
60	令和3年度伯耆町町営公園墓地事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
61	令和3年度伯耆町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
62	令和3年度伯耆町地域交通特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
63	令和3年度伯耆町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
64	令和3年度伯耆町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
65	令和3年度伯耆町水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
66	令和3年度伯耆町丸山地区専用水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
67	令和3年度伯耆町下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
68	令和3年度伯耆町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
69	令和3年度伯耆町索道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	—
70	令和3年度鳥取県西部町村情報公開・個人情報保護審査会特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

(※) 勝部俊徳議員は、議長のため採決に参加していない。

令和4年度一般会計・特別会計補正予算を可決

令和4年9月議会において予算決算特別委員会に付託された一般会計補正予算（第2号）・特別会計補正予算（第1号・第2号）の5議案について可決した。各補正予算の内容は次のとおり。

会計名	今回補正額	補正後予算額	主な補正予算の内容
①伯耆町一般会計（第2号）	39,400万円	781,200万円	
(歳入)・地方交付税	7,122万円	⇒普通交付税の増額	
・前年度繰越金	33,487万円	⇒令和3年度の決算額確定による繰越金	
(歳出)・基金管理事業	10,000万円	⇒公共施設等整備基金への積立て	
・徴税過誤納還付金	407万円	⇒賦課徴収業務に対する不適切処理事案に対する還付金	
・二部放課後児童クラブ運営事業	12万円	⇒二部放課後児童クラブの支援員に対する待遇改善	
・小規模保育所運営事業	57万円	⇒小規模保育所の保育士の処遇改善	
・町道改良事業	865万円	⇒根雨原大坂線、町道大倉大原線、町道吉長押口線、町道岸本4号線の道路改良事業の実施。	
・土地改良補助事業	300万円	⇒丸山、添谷、久古の農業用施設の改修整備	
・森林整備事業	232万円	⇒林道維持事業、間伐材搬出補助事業について、森林環境譲与税を財源とした事業への組み替え。	
・消防団運営事業	300万円	⇒伯耆町消防団第6分団が消防ポンプ操法の全国大会に出場するための費用	
・防災行政無線管理事業	319万円	⇒防災行政無線個別受信機を50台確保	
・町内遺跡文化財調査事業	85万円	⇒長山地区急傾斜地崩落工事に伴い試掘調査を実施。	
②伯耆町国民健康保険特別会計(第1号)	410万円	143,953万円	⇒前年度繰越金の確定による増額
③伯耆町後期高齢者医療特別会計(第1号)	259万円	17,062万円	⇒前年度繰越金、過誤納保険料の還付金
④伯耆町水道事業特別会計(第2号)			⇒落雷による水道施設の修繕及び一般会計繰入金の増額
(収益的収入)	8,630万円	32,337万円	
(収益的支出)	1,869万円	28,916万円	
⑤伯耆町索道事業特別会計(第2号)	512万円	4,434万円	⇒元金償還金の増額

議案等に対する各議員の賛否（令和4年9月定例会）

議案番号	件名	大床	上田	片岡	長谷川	杉本	乾	永井	杉原	一橋	渡部	細田	幅田	大森	勝部
		桂介	博文	千明	満	大介	裕	欣也	良仁	信介	勇	栄	千富美	英一	俊徳
52	伯耆町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	伯耆町長及び副町長の給与の減額に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	令和4年度伯耆町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	令和4年度伯耆町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	令和4年度伯耆町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	令和4年度伯耆町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	令和4年度伯耆町索道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○
発議案第7号	肥料等価格高騰対策を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(5) (※) 勝部俊徳議員は、議長のため採決に参加していない。

みなさんからの請願・陳情は次のとおりとなりました

請願・陳情に対する各議員の賛否（令和4年9月定例会）

番号	議員名（議席番号順） 件名	結果	大床	上田	片岡	長谷川	杉本	乾	永井	杉原	一橋	渡部	細田	幅田	大森	勝部
			桂介	博文	千明	満	大介	裕	欣也	良仁	信介	勇	栄	千富美	英一	俊徳
陳情第8号	西部広域行政管理組合一般廃棄物処理施設整備基本構想の見直しを求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	—
陳情第11号	沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
陳情第12号	中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
陳情第13号	会計年度任用職員の処遇改善に向けた法改正と雇用安定を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	—

（※）勝部俊徳議員は、議長のため採決に参加していない。

内閣総理大臣等に提出した意見書

肥料等価格高騰対策を求める意見書

昨年から続く国際的な原油価格の高騰と、ロシアのウクライナ侵攻や急激な円安によって、一次産業を中心に生産資材など的高騰が問題となっている。

政府は、肥料価格高騰による農家のコスト増加分の7割を補填する新たな支援策を閣議決定したが、可及的速やかな取り組みを求めたい。

本町でも基幹産業である農林業において、不安の声が聞かれる。特に農業分野を中心に多く利用する肥料価格が生産者の経営意欲を奪い、専業・兼業問わず離農者の増加につながり農地の保全が困難となる。

今こそ、国の食料安保の観点から以下の対策を要望する。

記

1. 原油高騰対策の中で農林水産業の資材費・燃料費高騰対策を早急に講じられたい。直接的な国の財政支援を求める。
2. 緊急対策の柱として、影響が大きい肥料高騰対策を関係機関やメーカーと連携して推進すること。また、肥料価格高騰時に対応するセーフティ・ネットの構築も検討すること。
3. 農林水産業の後継者の高齢化や減少によって、地方が衰退しないよう施策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年9月16日

鳥取県西伯郡伯耆町議会

＜提出先＞
衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
農林水産大臣
財務大臣
} 様

委員会活動報告

総務経済常任委員会

○令和4年7月27日、

9月5日、13日開催

- ・ 町民と語る会について
- ・ 陳情第11号 沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情の継続審査
- ・ 陳情第13号 会計年度任用職員の処遇改善に向けた法改正と雇用安定を求める陳情の審査
- ・ 発議案第7号 飼料価格高騰対策を求める意見書について
- ・ 発議案第6号 総務経済常任委員会の行政調査について
- 調査事件 鳥獣被害対策について
- 調査地 島根県邑智郡美郷町

教育民生常任委員会

○令和4年7月27日、

9月5日、13日開催

- ・ 陳情第8号 西部広域行政管理組合一般廃棄物処理施設整備基本構想の見直しを求める陳情の継続審査
- ・ 陳情第12号 中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情の審査
- ・ 発議案第5号 教育民生常任委員会の行政調査について
- 調査事件 ひきこもり支援事業、文化振興事業、生活環境事業等
- 調査地 岡山県総社市、倉敷市、広島県呉市

予算決算等常任委員会

・ 9月5日の定例会初日に委員会付託された、令和4年度伯耆町一般会計補正予算（第2号）や令和3年度伯耆町一般会計歳入歳出決算認定を含む18議案の審査のほか、「町道吉定大原線の歩道等未整備区間の早期整備」など委員から提案のあった行政課題調査事項に関し、閉会中の継続調査とした。

議会改革調査特別委員会

・ 業務の効率化を図るため、導入されたタブレットが貸与されました。情報収集、情報発信等、今後の議員活動に積極的に活用したいと考えています。



予算決算等常任委員会



議会改革調査特別委員会

みんなが知りたい

全員協議会

9月定例会関連の全員協議会は、令和4年8月31日、9月15日の2日間開催。9月定例会に上程される議案等の協議を町執行部ともに行なった。

(一部抜粋)

●住民税賦課徴収事務における職員の不適切な事務処理事案の発生対応について(報告)

- ・所得税の申告等に基づいた個人住民税の賦課漏れ
- ・過誤納金の還付通知漏れ
- ・過誤納金の不正充当

対象職員2名の降格処分

●第12回全国和牛能力共進会(種牛の部)の出品牛について(報告)

共進会鳥取県最終予選会に種牛の部出品牛12頭のうち10頭が選出。

肉牛の部予選会で出品牛7頭のうち2頭が選出。

10月6日 鹿児島県で行われる全国和牛能力共進会へ出場。

●教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について(報告)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく評価報告。

●後期高齢者医療保険料還付漏れの発生とその対応について(報告)

- ・被保険者死亡、転出、所得更生等による過誤納金の還付漏れ

事務処理チェック体制の強化で再発防止に努める。

●令和3年度決算における健全化判断比率について(報告)

- ・実質赤字比率
- ・赤字額なし
- ・連結実質赤字比率
- ・赤字額なし
- ・実質公債費比率
- ・6・7パーセント
- ・将来負担比率
- ・将来負担比率なし

●第3次伯耆町総合計画(令和3～7年度)の取組み状況について(報告)

第3次伯耆町総合計画(令和3年～7年度)

- ・取り組み状況調査結果表
- ・地方創生の取り組みKPI(重要業績評価指標)効果検証

●伯耆町公の施設に係る指定管理者の選定方針について(説明)

令和5年3月末で指定管理期間の満了となる施設について指定管理の方針、指定管理者の募集要項の内容等の説明。

①産地形成促進施設(通称…大山ガーデンプレイス)

- ・指定管理者／伯耆町地域振興株式会社(伯耆町丸山)
- ・指定方法／非公募

②榎水高原リフト及び榎水フィールドステーション

- ・指定管理者／エムケイ開発株式会社(伯耆町大内(榎水高原))
- ・指定方法／公募



大山ガーデンプレイス



榎水高原天空リフト

●TOMONARI株式
会社の開発事業に関する
協定の締結について(説
明)

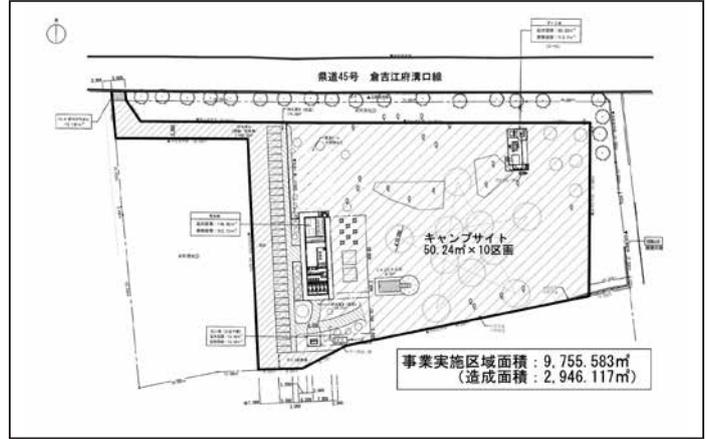
岩立地内で行う開発事
業、グランピング・キャ
ンプ事業「大山リゾート
沢田ベース」の事業計画
及び、開発協定の説明

・事業主体
TOMONARI株式会
社 伯耆町丸山1803
-970
代表取締役 焦学智
・事業面積
9755・583平方メ
ートル

(今後のスケジュール)
令和4年9月中旬
外構工事着工
令和4年10月上旬
建築工事着工
令和5年4月下旬
工事完成
令和5年5月
オープン予定



キャンプ場開発地



●二部保育所の休園につ
いて(報告)

二部保育所の児童数が
減少し、今後の入所児童
数の推移から、令和5年
度より休園する。

(経過)
・令和3年10月、令和4
年4月、庁内協議。
・令和4年4月、6月、
7月保護者との意見交換。

来年度の保育希望につ
いて、各保護者とも溝口
保育所へ入所の意向を確
認した。

二部地区の各集落の区
長及び就学前の児童を持
つ保護者等を対象に、説
明会等の開催を予定。
施設の維持管理につい
ては今後検討。
現在雇用している会計
年度任用職員は、雇用継
続希望の場合は他の保育
所で勤務してもらう。



二部地区の説明会



二部保育所

入所児童数の推移と見込 (各年度4月時点)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
入所児童数	26人	23人	19人	21人	15人	10人	7人	3人	1人
二部地区児童数	48人	43人	41人	38人	37人	31人	27人	—	—

※令和4年度の入所児童のうち1名は溝口地区の児童(4歳児)

※令和5年度以降の児童数については、新たな入所児童が無いと仮定した人数

一般質問 町政を問う！

一般質問とは、議員が町長等(執行機関)に対し、町の行政全般について執行状況や将来の方針等を問うものです。

基本ルール

- ・質問要旨は事前に通告
- ・持ち時間は1人60分
- ・町行政に関係があるもの

5人の議員が一般質問を行いました。

伯耆町では1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

令和4年9月6日 実施

ページ	主な質問事項	質問議員
11	1. 町内の公共施設の男性トイレの個室にサンタリーボックスの設置を求める 2. 帯状疱疹の発症防ぐ50歳以上ワクチン接種費の助成を求める	乾 裕 
12	1. 持続可能な農業の実現に向けて 2. 地域防災の強化について	上田 博文 
13	1. 水道事業会計について 2. 金融経済教育などの専門的教育について	長谷川 満 
14	1. 山間集落实態調査について 2. 全国学力テストについて	永井 欣也 
15	1. 一般廃棄物処理基本計画について 2. 旧統一教会との関係について ほか	幅田千富美 

スマートフォンなど携帯電話で一般質問の映像が流れるyoutubeの二次元バーコードはこちらです。



町政を問う

男性トイレの個室にサニタリーボックスの設置を

町長 一部の施設では設置をはじめている

※男性トイレにサニタリーボックスが設置されている5施設
岸本温泉ゆうあいバル・溝口福祉センター・溝口IC鬼のトイレ
文化センター・岸本保健福祉センター



溝口福祉センター男子トイレに設置されたサニタリーボックス

乾 前立腺がんや、ぼうこうがんの患者さんらが使用済みの尿漏れパッドを捨てる「サニタリーボックス」を男性トイレの個室に設置する動きが、公共施設や商業施設で広がっている。本町におい



乾 裕 議員



ユーチューブ動画はこちら

てもこの取り組みを導入されたい。

町長 質問の趣旨には意義はある。本町では、多目的トイレのない男性トイレの個室にも一部設置をはじめている。また、多目的トイレには、ほぼ

設置されている。設置箇所を増やしていくことについては、今後検討したい。

乾 町内の観光施設への設置や商業施設と連携し、設置を呼び掛けては。

「带状疱疹」の記載があり、その枚数と実人数で回答したい。令和2年度は、460枚、令和3年度では535枚。（带状疱疹の記載があっても主病は別の場合もあり、带状疱疹以外で受診されている方も含まれる。）

はすでに確立されている。医療の対応を超える部分をワクチン接種でいくかどうかについては医療機関の意見を聞かないといけない。予防接種において助成をする場合には、町内の医療機関の意見を聞いてこれまで判断してきた経過がある。毎年実施している町内医療機関との意見懇談会に議題として出してみたい。

带状疱疹の発症を防ぐワクチン接種費用の一部助成を

町長 町内医療機関との意見懇談会に議題として出してみたい

町長 民間事業者にどの程度の負担を供与していたかどうか即断では言えない。まずは、公共施設の状況を見ながらということになる。

乾 本町の带状疱疹の発症状況は。

乾 带状疱疹の発症を防ぐ50歳以上の方のワクチン接種費用の一部助成を求める。

健康対策課長 直接的なデータがないのでわからないが、国民健康保険及び後期高齢者医療の被保険者で、医療機関から提出される診療報酬明細書の傷病欄に

町長 带状疱疹ウイルスは、日本人の大多数が保持しているの、これを感染リスクを国全体で下げるとい方向にあるのかどうなのかは見えてこない。初期の抗ウイルス薬の投与が治療法として



町政を問う

肥料高騰に対する本町の農家支援策は

町長 価格高騰分に対して支援を検討

持続可能な農業の実現

上田 本町の農業は、高齢化問題、米価下落に加え、近年の農業資材の高騰により、農業経営が危機的状態である。持続可能な農業に向けて本町の農業支援対策について伺う。

町長 今年度も収入保険と農業共済の掛金を町が負担する。また肥料価格高騰支援として、国は、化学肥料2割削減の取り組みに対して、価格高騰分の7割の補填を予定し、県も農家負担3割の1割分の支援を考えており、町としても国、県と歩調を合わせ、1割分の支援を検討中である。

上田 本町の「堆肥センター」の堆肥利用促進を図るため、堆肥購入、散布に対し支援しないか。



上田 博文 議員



ユーチューブ動画はこちらから



堆肥センターの堆肥攪拌機

町長 堆肥の投入は、経済合理性により農家で判断してもらうことになる。堆肥の生産体制を拡大することができ農家に還元できる。

上田 堆肥の安定供給を図るため、20年近く経つ堆肥攪拌機の更新を検討しないか。

町長 攪拌機は、現在ある部品で修繕可能であることをメーカーから確認しており、今後も細心の注意を払い管理してゆく。

岸本地域にもポンプ車両の導入を

町長 消防団の声を聞いて検討する

地域防災力の強化

上田 高齢化対策、耕作放棄地の解消に寄与する集落営農、農業法人の設置数と今後の推進方法は、**産業課長** 現在、農業法人は17法人あり、耕作放棄地にならないよう管理している。法人化に向けて座談会で相談に応じたり、農業機械の更新や購入の支援している。

上田 本町において特産品の導入や付加価値商品の導入の検討に向けて地域おこし協力隊を募集しないか。

町長 農家や事業者が特産品を創っていきこうとする気運を持ったところに行政は支援してゆく。特産品開発には、リサーチ能力が必要で、外部人材に頼ることはリスクがある。

上田 地域に密着した地元消防団の役割は重要である。団員の加入状況と団員確保のためアンケート調査をしないか。

総務課長 今年8月時点での団員数は133名、うち女性消防団員は11名、町内の自営業者や町内勤務者数は、72名で割合は54%である。アンケート調査については、幹部会で協議してみたい。



第4分団の小型ポンプ車

上田 現在、消防車両の配備が溝口地域の第1、第3分団と本部分団にポンプ車両、岸本地域の第4、第6分団では可搬式ポンプ車両のみの配備で、不均衡となっている理由と岸本地域へのポンプ車両の導入の検討をしないか。

総務課長 合併時に住宅密集地の多い岸本地域は狭量道路でも消火できる小型ポンプを配備している。ポンプ車両の更新は、消防団と相談しながら検討する。

上田 第4分団の八郷地区は、面積や地形的にも可搬式ポンプ車両では、活動に限界がある。ポンプ車両の導入をすべきでないか。

町長 現場の声を聞いたうえで、必要があれば車両整備を検討してゆく。

町政を問う

累積欠損金の増え続ける原因は

町長 公営企業会計に伴う、資産の減価償却費



長谷川 満 議員



ユーチューブ動画はこちらから

水道事業会計について

長谷川 「伯耆町水道事業経営戦略」は3～5年に一度、計画や数値目標、年度目標などについて見直しを行う時期となった。事業運営の考え方、近況今後の推移は。

町長 施設の維持管理・収入支出のバランスをとりながら、安定供給に努めることが基本的な考え方。近年、収益的収支の累積欠損金が3億5000万円まで累増している。分析すると資産過多であり、管路が長い、給水箇所などの点検など減価償却費が大半を占めている。

長谷川 現在の公営企業会計をどう評価するか。

町長 水道事業の経費は料金収入をもって充てる

独立採算制が原則。だが運営側としては安定した水質を安定した低廉な価格で供給する目的に沿いながら収支構造を改善していく。その後料金のあり方についての検討は必要。

長谷川 令和3年度の決算書において、収益的収支は当年度純損失で5千万円のマイナス、累積欠損金は3億5千万円と年々増え続けている。この原因をどう捉え、対処していくか。



水道は重要な生活インフラ

金融経済教育など町独自の専門教育は

教育長

小中学校では家庭科・社会科などで学習している

町長 累積欠損金があることは経営が健全ではないということ。ただ、現金収支は赤字ではなく黒字。減価償却費に対する繰り出しを行い、数年間継続し累積欠損金の解消を進める。下水道に関しては経営的に安定している。

教育長 新しい学習指導要領でも金融経済教育の充実が図られており、小中学校では家庭科、社会科などで主に学習している。

金融経済教育などの専門的教育について

長谷川 教育全体の大テーマとして横断的にかかってくる様々な専門的教育。金融リテラシーをはじめとする金融経済教育、消費者教育、デジタル教育、政治教育、ふるさとキャリア教育など細分化は進む。電子決済やカード払いなど、支払い時に現金を見ることもない時代に、

小学校・中学校の段階における金融経済教育などの現状は。

教育長 授業の時間が少ない、教員の学ぶ機会、教材や指導書の少ない課題全般を踏まえ、実践的な学習に重きが置かれている今、これらの専門的な教育を特化した形で進めるために今後どうするか。

教育長 社会科をはじめ各教科や総合的な学習の時間の中で専門職の外部人材を活用することが重要。

長谷川 分散型グループ、人材の育成に力を入れ、

「デジタルふるさとキャリア教育」に力を入れてほしいが、今後、町独自に力を入れて進めたい専門的教育はあるか。

「デジタルふるさとキャリア教育」に力を入れてほしいが、今後、町独自に力を入れて進めたい専門的教育はあるか。

伯耆町の学校教育の基本目標は社会の一員として自立して生きていく児童の育成。「ふるさとキャリア教育」を通して自分らしい生き方を実現すると共に将来に渡り伯耆町に誇りと愛着を持つ人材育成を図っていく。



町政を問う

少子高齢化が進む中山間地域への対策は喫緊の課題

町長 住みやすい条件を提供することを第一義に考える



永井 欣也 議員



ユーチューブ動画はこちらから

全国学力学習調査等の結果をどう活かす

教育長 授業改善による学力向上と ふるさとキャリア教育をさらに推進

永井 令和3年5月に鳥取県が実施した山間集落実態調査の概要と本町での調査対象集落は、小林、真野、焼杉、福居、福岡中央、大滝の7集落となっているが、本町の関与度合いと傾向は。

企画課長 世帯調査では家族の状況、住まいの環境、将来の見込みなど、集落点検調査では集落代表者から聞き取りで、人口、世帯数、地域運営組織、集落内の課題などを調査している。高齢化率では県全体調査が本町調査を上回り、独居世帯割合は本町調査が上回っている。

永井 市町ごとのデータは公表されていないが、多岐にわたる内容であり、本町に関する調査結果はフィードバックされないのか。



秋の中山間地集落

企画課長 県の条例等の規定により、各町ごとの集計は公表できないものとなっているが、要求すれば自町のもは提供され、調査の全体的な結果と概ね同様な傾向と捉えている。

県では中山間地域サポートチームを設置、本町では二部、日光地区の状況把握として公民館長、集落支援員への聞き取り

調査活動が始まっている。**永井** 少子高齢化が進む中山間地域の対応は喫緊の課題と考える。総合計画などを踏まえ、将来に向けての考えを伺う。

町長 本町は5年間の総合計画を作るにあたって、住民アンケート調査を行ったが、その手法が基礎自治体に合っている。

少子高齢化への対応として、住みやすい条件を提供する基礎インフラ整備などを第一義的に考える。

就業がないと定住は難しく、食肉加工工場の誘致などはその一環で、人口減少での基礎インフラの空きを使っていた。空家の問題は非常に切実。どのような支援ができるか、もう一歩踏み出した検討を進めたい。



集中してテストに臨む

永井 22年度の全国学力テストの結果が公表された。小学6年、中学3年生に4年ぶり実施の理科と国語、算数(数学)に加え、69項目の質問調査も行われた。本町の学力の状況、課題、対応策について伺う。

教育次長 学力状況、生活状況とも、全国平均、県平均に比し、全体的に概ね良好。

教育長 全国より良好だが、記述式問題に課題。長文読解の学習の場を設定する必要がある。

永井 質問調査に特徴的なところは見られなかったか。

教育長 1点目に地域の行事に参加している児童生徒の割合が高い。2点目、仲間と関わり合い、話し合いを活かしながら自分を成長させようという姿。3点目は家庭での学習習慣の定着に課題。

永井 本調査や標準学力調査の結果を、本町教育にどのように活かすか。

教育長 授業改善による学力向上とふるさとキャリア教育を両輪として、本町の学校教育をさらに推進したい。

町政を問う

プラスチック削減ゴミの資源化を

町長 プラスチック資源循環促進法を反映



南部町・伯耆町清掃施設管理組合 クリーンセンター



幅田 千富美 議員



ユーチューブ動画はこちらから

西部広域灰溶融施設の今後は

町長 副管理者として注視

幅田 燃えるゴミ30%削減を目指し、様々な取り組みを実施し、令和5年度から10年間の一般廃棄物基本計画を策定中だが、この間の成果、問題点、4月施行「プラスチック資源循環促進法」の反映は。

地域整備課長 現状のゴミ削減率は17.8%。平成30年度2カ町クリーンセンターに焼却施設を集約した。計画は集約中で、来年2月に審議会にはかりパブリックコメント後、4月に公表予定。

町長 新計画に「プラスチック資源循環促進法」を反映させる。

地域整備課長 住民説明会については状況に応じ、西部広域にお願いする。

町長 知る限り、その事象はないし、今後もない。

幅田 西部広域行政管理組合が2032年に米子市1箇所、9市町村のゴミを処理する「大型ごみ焼却・発電施設」を計画、その費用は約23.2億円、20年間の維持管理費3.25億円かかるとしているが、地球温暖化対策としてプラスチックゴミ削減のため、プラスチックは燃やさない方向が示されているのに、時代逆行の施設ではないか。住民説明会を実施する考えはないか。また、運転停止、解体撤去予定の灰溶融施設を突然、民間業者譲渡目的にサウンディング調査実施とのことだが、町民の安全、健康への対応は。

町長 灰溶融施設の令和7、8年解体は変えていない。施設有効活用での市場調査で議会からも意見が上がっている。副管理者でもあり、注視している。

幅田 安倍元首相の国葬を岸田首相が国会も開かず決定、国民合意や法的根拠もないまま、全額国費で弔意の強要は許されない。①町として半旗掲揚せず、町職員、町民に弔意の強要をしないこと、②学校、教職員に対し、弔意の表明、強制しないことが大切だが、町と教育委員会の対応は。

町長 町として弔意は求めないが、半旗掲揚の対応はする。

教育長 弔意は求めない。

は。

は。



(伯耆町消防団第6分団) 地域を守る ~合併後初の全国大会へ~



県大会で見事優勝し、千葉県市原市で10月29日開催される全国大会出場を果たされた第6分団の練習場所へお邪魔し、全国大会への意気込み等をお聞きしました。

○大江國夫伯耆町消防団長

コロナ禍の中、県大会で優勝し、全国大会出場を決めてもらい、大変うれしく思います。

伯耆町消防団では、団員不足の分団が多くあり、団員確保のため、様々なPR活動を行なっています。伯耆町消防団の名を広めるため、上位入賞を目指して頑張ってもらいたいと思います。

○奥田英樹分団長

第6分団は、団員がお互い、出来る者が、出来る事をする事で、分団がまとまっていると思っています。

全国大会では、選手が無事に大会に出場し、日頃の練習の成果が十二分に発揮できるよう全力でサポートします。

○指揮者 澤田雄三さん

初めての出場なので、全国のレベルがどの位なのか不安な点もありますが、タイム的には、かなりいい所だと思います。

ただ、競技内容の変更があり、現在それに合わせた練習を行なっています。

○一番員 江崎直人さん

伯耆町を代表して、練習してきた事を精いっぱい出し切り、優勝目指して頑張ります。

○二番員 宅野充晃さん

分団の中で、一番若いし、初めての事なので、緊張しないよう、力を出し切りたい。

○三番員 秋鹿 智さん

旧岸本町の時に、全国大会に出



場した事はありませんが、その時は、二番員で出場し、今回は、三番員で内容が全然違うので、違った意味で緊張感があります。一回出場した経験をいかし、頑張りたいと思っています。

○補助員 植田 潤さん

今回の大会は、旧岸本町として出場した大会とは、会場は違いますが、若い選手やサポーターメンバーに全国大会の独特な雰囲気、緊張感を体験出来る機会だと思えます。

日頃の練習の成果を存分に発揮し、伯耆町の操法を全国に披露できます。

編集後記

コロナの感染者数の減少傾向が見られ、経済活動も活発になり始めました。

こうしたなか、伯耆町議会でも、コロナ禍で、出来なかつた町民と語る会、県外先進地視察を3年ぶりに実施する事となりました。

またタブレットが議員に貸与され、情報のスピーディーな共有化が可能となりました。

広報委員会でも「議会だより」のリニューアルを行い、住民の皆様により読み易い紙面づくりを進めていきたいと考えています。

(片岡 千明)

【編集】

議会広報常任委員会

委員長 杉本 大介

副委員長 片岡 千明

委員 大森 英一

委員 長谷川 満

委員 上田 博文

委員 大床 桂介

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。

